

明治大学創立者

矢代操写真展

会期 2008年7月21日(月・祝)～7月30日(水)
10：00～18：00, ただし24日(木)は休会
会場 鮎江市文化の館
主催 明治大学
後援 鮎江市, 鮎江市教育委員会

ごあいさつ

明治大学の前身である明治法律学校は、1881（明治14）年1月17日、現在の東京都千代田区有楽町の地に開校しました。その中心となったのが、鯖江藩出身の矢代操先生、鳥取藩出身の岸本辰雄先生、天童藩出身の宮城浩蔵先生でした。本展示では、矢代先生にスポットを当てつつ、創立期の明治大学についても紹介します。

矢代先生は、1852（嘉永5）年6月20日、鯖江藩士の子として生まれました。藩の選抜生として上京し、司法省法学校でボワソナードらから近代法学を学びました。卒業後は司法省の官僚として近代国家成立期の政府で活躍したほか、早くから後進の育成に努めました。明治法律学校創立の背景には、教育熱心な矢代先生の存在があったのです。

先生は元老院書記官や貴族院書記官を歴任しますが、1891（明治24）年に38歳で亡くなりました。

本企画展が、矢代先生の事蹟あるいは精神を再確認する機会になるとともに、鯖江市と明治大学の今後一層の交流の契機となれば幸いです。

2008年7月

明治大学



矢代操先生肖像

展示資料リスト

展示資料の解説です。敬称は省略しています。

I 青年時代

1 矢代操肖像（明治中期）

矢代操は、1852（嘉永5）年6月20日、鯖江藩士・松本伝吾の子として生まれました。のち、矢代潤蔵家の養子となります。

2 矢代家跡地

矢代家は現在の鯖江市屋形町にありました。

3 司法省法学校生徒の集合写真（明治初期）

矢代操は、鯖江藩を代表する貢進生として1870（明治3）年に上京し、大学南校を経て司法省法学校に入学しました。司法省法学校には、岸本辰雄や宮城浩蔵をはじめ、のちに明治法律学校に関係する人物が多数在籍していました。

4 ポワソナード肖像（明治期）

司法省法学校時代の矢代操は、司法省のお雇外国人であるポワソナードやブスケから、最新のフランス法学を学びました。

5 西園寺公望肖像

矢代操と同じフランス法学を修めた西園寺公望は、明治法律学校の創立に関わり、はじめての非常勤講師として教鞭も執りました。のちには、明治法律学校の名誉顧問となり、永く学園を支えました。

II 明治法律学校の創立者として

6 明治法律学校開校届（1880・明治13年）

矢代操・岸本辰雄・宮城浩蔵の3名の創立者は、無月謝で公務の合間に授業をおこなう旨を表明しています。この背景には、法学を学びたいと強く願う学生の要望があり、とくに矢代は学生たちとのパイプ役でもありました。

7 大名小路絵図（松平主殿頭屋敷）

明治法律学校は旧島原藩邸の一部を借り受け開校しました。家主は同藩最後の藩主松平主殿頭で、場所は現在の有楽町です。

8 明治大学発祥の地碑

明治法律学校開校地には、1995（平成7）年に明治大学発祥の地碑が建てられました。

9 開校当初の明治法律学校想像図（1956・昭和31年制作）

この絵は、第1回卒業生らの座談会をもとに制作されたものです。

10 明治法律学校設立ノ趣旨（1881・明治14年）

明治法律学校を開校する意義を述べています。この資料で注目すべきは、法学を学ぶ意義に「権利自由」を述べている点です。このことばは、明治大学建学の精神のひとつでもあります。

11 明治法律学校設立広告（1880・明治13年）

矢代操・岸本辰雄・宮城浩蔵の3名の名前で出された明治法律学校設立を伝える新聞廣告です。

12 創立者デザインパネル（2001・平成13年制作）

このパネルは、明治法律学校設立趣旨書と創立者3名の肖像を組みあわせてデザインしたもの。創立120周年記念展覧会の絵葉書やポスター等に使用しました。

13 ニコライ堂から見た南甲賀町校舎（1891・明治24年）

1886（明治19）年12月、明治法律学校は学生増により、それまでの有楽町から、文教の地・神田駿河台の南甲賀町に移転しました。

14 南甲賀町校舎（明治20年代）

南甲賀町校舎の場所は、現在の駿河台キャンパス・リバティタワー向かいです。

15 判事登用試験合格記念写真（1884・明治17年）

この写真は、1884（明治17）年の判事登用試験合格記念です。学生のほかに、矢代操（中列1番左）、岸本辰雄（後列左から2人目）、宮城浩蔵（中列右から3人目）らが写っています。

16 借用証書（長直四郎）

開校当初、明治法律学校は厳しい経営を迫られました。資料にある長直四郎は矢代操の親戚ですが、資金面での協力を惜しみませんでした。

17 ボワソナードを囲んだ記念写真（明治中期）

ボワソナード（前列中央）を囲んだ記念写真です。
矢代操（前列左から5番目）、岸本辰雄（前列右から4番目）、宮城浩蔵（前列右から3番目）の姿があります。

18 記念写真（明治中期）

前列1番右に矢代操の姿が見えます。

19 岸本辰雄肖像

岸本辰雄は鳥取藩士の子として1851（嘉永4）年に生まれました。創立者3名の中では最も長命で、1912（明治45）年に亡くなるまで校長を務めました。

20 宮城浩蔵肖像

宮城浩蔵は天童藩（山形県）士の子として1852（嘉永5）年に生まれました。明治法律学校では初代教頭を務め、また国會議員としても活躍しました。1893（明治26）年没。



岸本辰雄肖像



宮城浩蔵肖像

III その業績と継承

21 任元老院書記官（1886・明治19年）

矢代操は非常に教育熱心で学生からたいへん慕われていましたが、フランス法学を修めた新進の官僚でもあり、要職を歴任しました。

22 任貴族院書記官（1890・明治23年）

貴族院書記官の辞令です。

23 矢代操墓所

矢代操の墓所は、東京の青山霊園にあります。

24 復興記念功労者表彰（1929・昭和4年）

関東大震災からの復興を果たした際、大学は創立者をはじめ多くの先人の功績を顕彰しました。

25 3代目（旧）記念館（1934・昭和9年）

明治大学のシンボル校舎である3代目（旧）記念館が竣工したのは、1928（昭和3）年です。

26 3代目（旧）記念館（1983・昭和58年）

「白雲なびく」ではじまる明治大学校歌の世界を表したかのような空と記念館です。

27 現在の駿河台キャンパス（2004・平成16年撮影）

明治大学の駿河台キャンパスには、創立者の精神や建学の理念が継承されています。「自由」を標榜するリバティタワーの最上階には創立者の肖像画が飾られています。

28 矢代操胸像（2006・平成18年撮影）

この胸像は、岸本辰雄・宮城浩蔵の胸像とともに、リバティタワー陽だまり広場に立っていて、学生たちを見守っています。

29 矢代操略年表（参考）

30 明治大学略年表（参考）



矢代操胸像（鯖江市）

明治大学創立者 矢代操写真展パンフレット

〔編 集〕 明治大学史資料センター

〔会 場〕 鯖江市文化の館

〒916-0022 福井県鯖江市水落町2-25-28

TEL 0778-52-0089

〔発行日〕 2008年7月21日

〔印 刷〕 二葉印刷有限会社